



たいじゅ もり
大樹の森

6月号

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fudomaru/>



集団で学ぶ 集団から学ぶ

校長 山下 謙一郎

6月といえば梅雨。毎年、この時期になると、雨が続いて外で遊べない、湿度が高くベタベタする、洗濯物が乾かない…といったマイナスなイメージを、私はどうしても浮かべてしまいます。でも、農家の方にしてみれば、この梅雨は貴重な雨の季節。農作物にとってはこの雨がなければ育たなくなってしまうものも多いのでしょうか。立場によって、梅雨のイメージは大きく異なるのでしょうかね。

さて、6月18日には土曜参観を行います。今年度は、子どもたちがオンライン授業を行っている様子を参観してもらおうと考えています。あまり望ましいことではないのですが、臨時休業や学級閉鎖があった場合、必要に応じてオンラインによる授業を実施することを想定したものです。子どもたちの中には、タブレット端末の扱いに随分慣れてきた子もいれば、まだまだ十分でない子もいます。ロイロノートやMeetを用いた学習も、子どもたちだけでは、まだ心許ない部分もあります。そこで、この土曜参観の機会に保護者の方々にオンライン授業の様子を見ていただくとともに、子どもがうまく使えていない場合には一緒に手伝っていただきながら、1時間だけではありますが、オンライン学習とはこういう学び方なのだ、ということを実際に見て知っていただければと思います。

しかしながら、一方でタブレットを用いた学習には限界があります。それは、小学校で大事にしている学びが「集団で学び、集団から学ぶ」ところにあるからです。友達の発表一つとっても、相手の目を見てうなずいたり、表情から気持ちを読み取ったり、そのときの他の友達の反応を感じたり…。ときには口論になることもあれば、いさかいが起きてしまうこともあります。でも、これらは子どもたちが社会に出ていく上で大切な経験だと考えます。学びを止めないためには、オンライン授業がやむを得ない時期もあると思いますが、私たちは人と人との温かい交流を通して学び合うことを一番に考えて、これからも教育活動を進めて参ります。これからもどうぞご理解、ご協力をお願いします。